

ジフテリアの発生する季節 予防注射は必ず三回実施

例年ジフテリアの発生する季節になりましたので、お母様方はジフテリアに対する知識を深め注意を守って病状からお子様を守らうていきたいと思います。

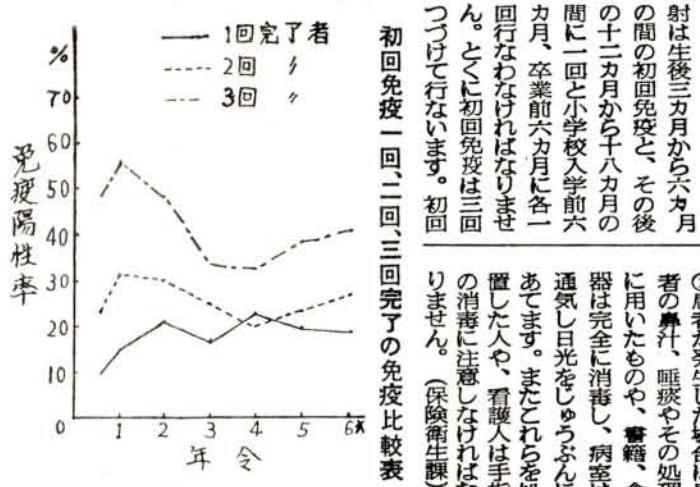
原因 ジフテリアはジフテリア菌の感染によって起る小児に多い伝染病の一つで、菌はのどや鼻から侵入するといわれています。

ジフテリア菌は侵入した部位に向い毒素を作り、菌の毒素が全身をまわり、神経をおかしてマヒさせたり、心臓マヒを起したり、髄膜炎を起すこともあり、呼吸をふさいで窒息したりすることもあります。

症状 症状はジフテリア菌の侵入した場所によって異りますが、三十八度から四十度の熱を出して咳が出たり、のどが痛いということがあり、のどを見ると白い膜が見えたりもありません。また、鼻汁は粘性のある感じ、呼吸は次第に苦しくなることもあります。また鼻腔にジフテリア菌は熱もなく、元気もよいのに非常に鼻汁が多くて鼻がつまったり、鼻汁に血液がまじっていたりして診察をうけて発見されることもあります。

ジフテリアは早く発見して治療を行えば三〜四週間で全治しますが、治療がおくれたりすると死をまぬがれても、急性期を過ぎてからジフテリア後マヒといつて身体各部の神経のマヒを起すことがあります。

予防 それでは予防するためにどのようなことに注意したらよいでしょうか。①予防注射、ジフテリア菌が人体に侵入したら全部の人が発病するとは限りませんが、免疫のあるお母さんから生れた乳児は、生後四ヶ月からは自然免疫を持っていますので感染の機会があっても発病しません。しかしだんだん免疫がなくなると一〜三才くらいで八〇〜九〇%の発病する可能性を持つようになります。そこで予防注射が必要になってくるわけです。予防注射は生後三ヶ月から六ヶ月の間の初回免疫と、その後十二ヶ月から十八ヶ月の間に二回と小学校入学前六ヶ月、卒業前六ヶ月に各一回行なわなければなりません。とくに初回免疫は三回つけて行ないます。初回免疫一回、二回、三回完了の免疫比較表



免疫の時は一回だけした人と三回完了した人ではその免疫に非常に差のあることが判っています。市では四月上旬に実施を予定しています。

②患者が発生した場合は患者の鼻汁、唾痰やその処理に用いたものや、書籍、食器は完全に消毒し、病室は通気日光をせしめ、病室をあてます。またこれらを処理した人や、看護人は手指の消毒に注意しなければなりません。(保険衛生課)

お知らせ板

自作農資金借入申込みはすぐ農協へ

自作農資金貸付の目的は今更申すまでもなく自立経営農家の助長育成であり、なんといつても農業経営の土台である農地を確保することが先決条件といわなければなりません。

自作農資金借入申込みは、自立経営にとって必要な農地取得または、維持を容易ならしめる資金を、長期でしかも低利で融通することによって、合理的な農業が営まれ、ひいては農業所得を増大させ、農業が他

産業との所得格差を縮めるための資金です。国においては昭和三十七年度の自作農維持創設資金貸付総額は二百億円としており、前年度に比べ約三〇%の増額となっているようです。その資金内容を見ると農地購入資金として百三十四億円、維持資金三億円となっており、本市への配分率は前年度に七百円で、本年度は未定ですが、前年度より若干の増額は見込まれるものと見られます。本資金の借受希望者は、いままぐ関係農協へ申出てください。なお本資金貸付については具体的指導は個々について農業委員会が実施いたしますから農業委員会事務局へご相談ください。(農業委員会)



農事メモ

【甘藷の育苗】

甘藷の育苗(早植栽培)は収穫が増し労力の配分がよくなり、さらに土壌に用いたものや、書籍、食器は完全に消毒し、病室は通気日光をせしめ、病室をあてます。またこれらを処理した人や、看護人は手指の消毒に注意しなければなりません。(保険衛生課)

①種いもの所要量 二〇三〇〜二六〇〇グラムの大きさのもの 一〇〇グラム当り 一五〇キログラムくらい必要である。

②育苗の幅 ビニールの幅は決まるが、一・五メートル(一・八メートルのビニールを使用する)くらいが適当である。

③育苗の肥料 基肥は全面散布し土壌と切り混ぜる三・三平米(一坪)当り堆肥二〇キログラム以上ほかに硫酸二〇〜二〇〇グラムくらいは必要である。

④種いもの消毒 黒斑病予防のため必ず温湯消毒を行なうこと。温湯四八度二〜四分間浸漬する。

⑤育苗のビニール被覆 育苗二〇アール当り、二六〜三三平米(八〜一〇坪)を必要とする。

⑥育苗管理上の注意 ①種いもの消毒 黒斑病予防のため必ず温湯消毒を行なうこと。温湯四八度二〜四分間浸漬する。

②育苗のビニール被覆 育苗二〇アール当り、二六〜三三平米(八〜一〇坪)を必要とする。

③育苗管理上の注意

④種いもの所要量 二〇三〇〜二六〇〇グラムの大きさのもの 一〇〇グラム当り 一五〇キログラムくらい必要である。

⑤育苗の幅 ビニールの幅は決まるが、一・五メートル(一・八メートルのビニールを使用する)くらいが適当である。

⑥育苗の肥料 基肥は全面散布し土壌と切り混ぜる三・三平米(一坪)当り堆肥二〇キログラム以上ほかに硫酸二〇〜二〇〇グラムくらいは必要である。

⑦種いもの消毒 黒斑病予防のため必ず温湯消毒を行なうこと。温湯四八度二〜四分間浸漬する。

⑧育苗のビニール被覆 育苗二〇アール当り、二六〜三三平米(八〜一〇坪)を必要とする。

⑨育苗管理上の注意

⑩種いもの所要量 二〇三〇〜二六〇〇グラムの大きさのもの 一〇〇グラム当り 一五〇キログラムくらい必要である。

⑪育苗の幅 ビニールの幅は決まるが、一・五メートル(一・八メートルのビニールを使用する)くらいが適当である。

⑫育苗の肥料 基肥は全面散布し土壌と切り混ぜる三・三平米(一坪)当り堆肥二〇キログラム以上ほかに硫酸二〇〜二〇〇グラムくらいは必要である。

⑬種いもの消毒 黒斑病予防のため必ず温湯消毒を行なうこと。温湯四八度二〜四分間浸漬する。

⑭育苗のビニール被覆 育苗二〇アール当り、二六〜三三平米(八〜一〇坪)を必要とする。

⑮育苗管理上の注意

⑯種いもの所要量 二〇三〇〜二六〇〇グラムの大きさのもの 一〇〇グラム当り 一五〇キログラムくらい必要である。

⑰育苗の幅 ビニールの幅は決まるが、一・五メートル(一・八メートルのビニールを使用する)くらいが適当である。

⑱育苗の肥料 基肥は全面散布し土壌と切り混ぜる三・三平米(一坪)当り堆肥二〇キログラム以上ほかに硫酸二〇〜二〇〇グラムくらいは必要である。

⑲種いもの消毒 黒斑病予防のため必ず温湯消毒を行なうこと。温湯四八度二〜四分間浸漬する。

⑳育苗のビニール被覆 育苗二〇アール当り、二六〜三三平米(八〜一〇坪)を必要とする。

㉑育苗管理上の注意

㉒種いもの所要量 二〇三〇〜二六〇〇グラムの大きさのもの 一〇〇グラム当り 一五〇キログラムくらい必要である。

㉓育苗の幅 ビニールの幅は決まるが、一・五メートル(一・八メートルのビニールを使用する)くらいが適当である。

㉔育苗の肥料 基肥は全面散布し土壌と切り混ぜる三・三平米(一坪)当り堆肥二〇キログラム以上ほかに硫酸二〇〜二〇〇グラムくらいは必要である。

㉕種いもの消毒 黒斑病予防のため必ず温湯消毒を行なうこと。温湯四八度二〜四分間浸漬する。

㉖育苗のビニール被覆 育苗二〇アール当り、二六〜三三平米(八〜一〇坪)を必要とする。

㉗育苗管理上の注意

㉘種いもの所要量 二〇三〇〜二六〇〇グラムの大きさのもの 一〇〇グラム当り 一五〇キログラムくらい必要である。

㉙育苗の幅 ビニールの幅は決まるが、一・五メートル(一・八メートルのビニールを使用する)くらいが適当である。

㉚育苗の肥料 基肥は全面散布し土壌と切り混ぜる三・三平米(一坪)当り堆肥二〇キログラム以上ほかに硫酸二〇〜二〇〇グラムくらいは必要である。

㉛種いもの消毒 黒斑病予防のため必ず温湯消毒を行なうこと。温湯四八度二〜四分間浸漬する。

㉜育苗のビニール被覆 育苗二〇アール当り、二六〜三三平米(八〜一〇坪)を必要とする。

㉝育苗管理上の注意

㉞種いもの所要量 二〇三〇〜二六〇〇グラムの大きさのもの 一〇〇グラム当り 一五〇キログラムくらい必要である。

㉟育苗の幅 ビニールの幅は決まるが、一・五メートル(一・八メートルのビニールを使用する)くらいが適当である。

㊱育苗の肥料 基肥は全面散布し土壌と切り混ぜる三・三平米(一坪)当り堆肥二〇キログラム以上ほかに硫酸二〇〜二〇〇グラムくらいは必要である。

㊲種いもの消毒 黒斑病予防のため必ず温湯消毒を行なうこと。温湯四八度二〜四分間浸漬する。

㊳育苗のビニール被覆 育苗二〇アール当り、二六〜三三平米(八〜一〇坪)を必要とする。

㊴育苗管理上の注意

㊵種いもの所要量 二〇三〇〜二六〇〇グラムの大きさのもの 一〇〇グラム当り 一五〇キログラムくらい必要である。

㊶育苗の幅 ビニールの幅は決まるが、一・五メートル(一・八メートルのビニールを使用する)くらいが適当である。

㊷育苗の肥料 基肥は全面散布し土壌と切り混ぜる三・三平米(一坪)当り堆肥二〇キログラム以上ほかに硫酸二〇〜二〇〇グラムくらいは必要である。

㊸種いもの消毒 黒斑病予防のため必ず温湯消毒を行なうこと。温湯四八度二〜四分間浸漬する。

㊹育苗のビニール被覆 育苗二〇アール当り、二六〜三三平米(八〜一〇坪)を必要とする。

㊺育苗管理上の注意

㊻種いもの所要量 二〇三〇〜二六〇〇グラムの大きさのもの 一〇〇グラム当り 一五〇キログラムくらい必要である。

㊼育苗の幅 ビニールの幅は決まるが、一・五メートル(一・八メートルのビニールを使用する)くらいが適当である。

㊽育苗の肥料 基肥は全面散布し土壌と切り混ぜる三・三平米(一坪)当り堆肥二〇キログラム以上ほかに硫酸二〇〜二〇〇グラムくらいは必要である。

㊾種いもの消毒 黒斑病予防のため必ず温湯消毒を行なうこと。温湯四八度二〜四分間浸漬する。

㊿育苗のビニール被覆 育苗二〇アール当り、二六〜三三平米(八〜一〇坪)を必要とする。

㊽育苗管理上の注意

汚物処理手数料の納付は25日まで

昭和三十六年度汚物処理手数料第四期分(一・二・三・三月分)の納期限は三月二十五日となっておりますので、お忘れなく六月十五日付発行の納額告知書をご持参のうえ、市金庫または近くの出張所に納めてください。(保険衛生課)

無電話部落の解消に 農村公衆電話を

日本電信電話公社では、無電話部落の解消のため、農村公衆電話の設置を年次計画で実施しておりますが、つぎの条件がそなわってあれば、農村公衆電話設置申請ができることになっておりますので、まだ申請していないところは、早く、受益者の負担はあります。

個人事業税(県税)の申告は20日まで

三月二十日は個人事業税の申告期限です。申告しなければ専従者控除や雑損控除等諸控除が認められません。申告書の受付については三月十六日から二十日まで(十八日を除く)の四日をお忘れなく。(諫早県事務所)

求人案内

日	時	町	名
16日	9時〜12時	久原郷、玖島郷、片町、八幡町、三好町、旭町、春日町、札町、下田町	
16日	13時〜16時	港町、三浜町、四浜町、本町、伊勢町	
17日	9時〜12時	下波止、上波止、大入町、萱瀬町	
17日	13時〜16時	東三城、西三城	
18日	9時〜12時	武部郷、寿町、栄町、泉町、水主町、昭和通、新城町、辻田町	
18日	13時〜16時	杭出津、乾馬場、古町、植松郷	
19日	9時〜12時	並松郷、松並町、桜馬場、諏訪郷	
19日	13時〜16時	池田郷、水田町、三浦、鈴田、竹松本町、宮小路、小路口郷	
20日	9時〜12時	原口郷、福重、松原、萱瀬、その他	
20日	13時〜16時		

流質物の公売会

△日時 三月十六日(金曜)
△場所 大村市中央公民館
△公売品 洋服、和服類ほか
約二〇〇点

市内(男子)

△各種自動車運転手年令不問
月収一〇、〇〇〇〜一五、〇〇〇
△円△工場検査年令18〜30才
日収二〇〇〜二五〇円(ただ
三〇〇〜三五〇円)

あつても、その数が少ないため、一般の利用に不便を感じているところも含まれます。(商工水産課)

注意しましょう。①一年生苗はだいたい木から三センチ内外の充実した芽のところまで切りかえす。苗木があるので注意する。輪状芽(各生長点の境にある)の直上から切らないこと。この場合長さが二五センチ(約八寸)以下になっても差支ない。

②根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

③苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

④植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

⑤根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

⑥苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

⑦植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

⑧根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

⑨苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

⑩植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

⑪根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

⑫苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

⑬植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

⑭根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

⑮苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

⑯植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

⑰根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

⑱苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

⑲植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

⑳根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

㉑苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

㉒植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

㉓根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

㉔苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

㉕植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

㉖根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

㉗苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

㉘植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

㉙根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

㉚苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

㉛植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

㉜根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

㉝苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

㉞植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

㉟根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

㊱苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

㊲植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

㊳根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

㊴苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

㊵植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

㊶根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

㊷苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

㊸植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

㊹根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

㊺苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

㊻植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

㊼根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。

㊽苗は深植えにならないよう、接ぎ部が若干出るように入植え、支柱を添えて結束する。

㊾植え終ったら敷草をし苗には、わらトビをかけ乾燥を防ぐ。

㊿根を粘土で固めても、根のは丁寧洗い落とし、根は自然に抜け、先端は下方に向けて植えつける。細かい土を手でよく詰め、その後じゅうぶん灌水する。